

くにびき通信

2023年 8月・9月号

大田市山村留学センター 三瓶こだま学園

はじめに

8月末、夏休みを終え子供たちが帰ってきました。今年も暑い夏でしたが、家族や友達と過ごしたり、宿題もしてゆっくりして、美味しいものを食べて、リフレッシュできたようです。1か月とはいえ、身長や体重に加え、声のトーンまでパワーアップして、成長した姿が見受けられました。

一方、センターでは短期活動があり多くの参加者が集まりました。センターの職員は忙しい日々となりましたが活気のある充実した時間でした。その後での夏休み明けの長期生に会った時の自分の気持ちは、ほっとしたような、普段の生活のありがたさをしみじみと感じたところです。

1学期の話にもどりますが、今年は畑で沢山の野菜が穫れました。今までにない収穫量でした。サニーレタスに始まり、ピーマン、なすび、オクラ、インゲン、トマト、ミニトマト、スイカ、ジャガイモ。お疲れ様でした。ありがとう。美味しかったね。

今月は、お米の収穫を楽しみにしています。

調理員 細川志津子



今回の活動カレンダー



日にち	活動内容
8月23日(水) 曇・雨	帰園
8月24日(木) 晴	畑・個人活動
8月25日(金) 曇・雨	畑・個人活動
8月26日(土) 曇	個人活動・カヤック
8月27日(日) 晴	PTA奉仕作業・ 上立石納涼会・ スイカ割り
9月2日(土) 曇	なだら立て・ 個人活動

日にち	活動内容
9月3日(日) 晴	個人活動・ 収穫祭打ち合わせ
9月11日(月) 雨	よりづくり
9月16日(土) 曇	ソロキャンプ1日目
9月17日(日) 晴・雨	ソロキャンプ2日目
9月18日(月・祝) 晴・雨	畑・個人活動

個人活動

8/24(木)、8/25(金)、9/2(土)、9/3(日)、9/18(月・祝)



▲雨の中の植え付け作業！



▲チョコレートに包まれた何か…。



▲三瓶木工館の方からのレクチャー！



▲木の枝を採取。何に使うのか…？



▲この大きな器はもはや！



▲後ろの箱は一体…？



▲砂糖と一緒にじっくり、ぐつぐつ。

SNSでも度々投稿している、7人の学園生たちの個人活動。11月の収穫祭に向けて、いよいよ本格的に動き始めました。「この子はこういうテーマで取り組んでいるのかな？」という予測をしていただいたり、「今こういうアクションをしているんだー！」と見守っていただいたり、どんな活動が展開されていくのか楽しみにしてくださいね。詳しい活動内容はぜひ、収穫祭にてご覧ください！皆それぞれ、楽しみながら頑張っています！

カヤック体験 8/26(土)



昨年、雨天で中止とした隣り町の美郷町の江の川（ごうのかわ）でのカヤック体験。通り雨の時間帯がありましたが、今年は何とか無事体験することが出来ました！カヤックを漕ぐのは初めてという学園生が大半でしたが、インストラクターさんからのレクチャーを受け30分程経った頃には、皆軽やかにオールを漕ぎ、おだやかな清流や山々の景観を楽しんでいました。オール合戦や水遊び、遊泳等のびと豊かな自然を味わうことが出来ました。

上立石納涼会 8/27(日)



センターが位置する地区である「上立石地区」の納涼会が、センターを会場に行われました。美味しい野菜やお肉、ステキな吹奏楽演奏会など、非日常がたっぷりつまったお祭りムードに皆大興奮でした！特にタピオカドリンク飲み放題のキッチンカーは大人気。皆飲食が進みすぎて、「エネルギー消費するために鬼ごっこしようや！」と、地域の子どもさんも一緒になって鬼ごっこ。しかし「お腹が重すぎて走れん…」と少々苦戦していたのはちょっとした裏話です。

なだら立て

9/2(土)



9月下旬に控えた稲刈りに向けて、刈った稲を干すための「なだら」を立てました。事務職員の西村さんが手ほどきをしてくださり、組み立ての手順や紐の結び方を皆で実践。7人の学園生に昔ながらの技法が継承されます。木登り大好きな皆は高所の作業もへっちゃら！たまに吹く風が気持ちいいなだら立てになりました。

よりづくり

9/3(日)



なだら以外にも、刈った稲を束ねる「藁（わら）より」が稲刈りには必要です。新規生と小学生は目標数50本、継続生は70本を目指し、よりづくりを行いました。足で藁を押さえつけ、掌で擦るように「より」ながら、紐状の「藁より」をつくります。地道な単純作業ですが、皆で話したり歌ったりしながら目標数を達成しました！

一泊二日ソロキャンプ

9/16(土)～9/17(日)



大田市山村留学センターでの活動の中でも、ハードでハイレベルに位置するであろう活動、「ソロキャンプ」！住居の設営も食事の調理もすべて自分で行い、たった1人で山奥の中、一夜を明かさなくてはなりません。最低限の水・住居用素材・食材を携えて、学園生7人はセンター周辺のキャンプサイトへ入山して行きました。

皆それぞれ苦難が伴いつつも、自分なりに工夫を凝らしてキャンプの時間を過ごしていました。栗の実を剥いて栗ご飯づくり。木登りをして、いつもとは違う風景を楽しむ時間。寝床はハンモック風。すごい！皆自分なりの理想がしっかり頭の中にあって、それを形にできる力があるんだ！ということが伝わってきました。たった1人で山中の一夜を過ごすことも、度胸がなければ達成できないことだと思います。

そんなソロキャンプを終えた学園生たちですが、多くの学園生が火起こしで苦戦し、十分な調理を経験できなかったようでした。キャンプの記憶が新しいうちに、火起こしのやり方を復習しようということで、その日の午後は火起こしおさらい会を実施。一度うまくできなかったとしても、再挑戦すれば大丈夫。是非自身の力で、充実したキャンプタイムを体感してほしいです！

畑作業 8/24(木)、8/25(金)、9/18(祝・月)



2学期に入り、センターの畑も秋の姿に移り変わろうとしています。夏野菜をひとしきり収穫した後は、石灰を撒き畑を耕しました。8月には様子を見に来てくださった矢田の父さん(受入農家さん)が、サツマイモの手入れの仕方等をご教示くださいました。白菜、大根、葱、ほうれん草、チンゲン菜…美味しく育つよう随時手入れをしています！

西村崇司のつぶやき

＼う／

先月号で和食料理店亭主が書かれていた料理する野菜の四季を紹介したところ、人生の先輩から「言えて妙です」というおたよりをいただきました。「秋は根のもの、とあるがわたしは里芋が好物です。みそ汁、豚汁、おでん・・・」とあり、わたしも大好きなので好みの一致に驚き、おでんの具として挙げられていることに二度驚きました。農家であった我が家の秋から冬にかけて大根と里芋（少し遅れて白菜）は食卓の定番で、今に至るまでおでんには必ず里芋を入れていますが外で食べるときに里芋をみかけることはありません。我が家あるいは農家だけのマイナーな具材とばかり思い込んでいたので「おでんには里芋」ファンがいることに虚を突かれ同時にうれしくもなりました。

こんな「おいしいもの」が頭にうかんだとき、向田邦子さん（むこうだくにこ。脚本家・随筆家・小説家）の「う」という随筆を思い出します。収録本が手元になく正確性を欠きますが、始まりは、「う」はうまいものの略である。この抽斗（ひきだし）をあけると、さまざまな切り抜きや葉が入っている。・・・「だったと思います。筆者は書類整理が苦手で身の回りにある領収書や保険・年金などの書類のほかに職業柄の名刺や手紙がちらかっている。これはいかん、と思い立ち一念発起して書類を仕分けし保管する目的でレターケースを買った。しかし、いつの間にかひきだしの中はバラバラで・・・。それでも、「う」と書いたラベルのひきだしの中だけはうまいものに関する切り抜きやしおりが入っていて、他人さまはどう思われようとこのひきだしだけは誇ることができるものだ、と結ばれていたと思います。向田さんは1981（昭和56）年、飛行機墜落事故により51歳で亡くなっていてわたしは生前の向田さんは知りません。没後に残された作品集のいくつかを読んだ中の一篇が「う」ですが、別な本で「自分がおいしいと感じたものを取り寄せて食べることは好きだけれど、気のおけあい人と一緒に食べたり自分で料理してふるまうことも好きです」と書かれていた記憶があります。いまの時代、インターネットやSNSを介して、居ながらに必要な情報を「絞り込み」という手法でチャチャッと手に入れることができます。この利便性の恩恵に預かりつつも、切り抜きやメモ取りは続けていきたいと思っています。

冒頭に紹介した先輩のおたよりには里芋を評して「秋に食べてもあきがこない」そうです。こういったユーモアをさらっと言えるため、毎日を大切に過ごしたいと思っています。

「くにびき通信」2023年8月・9月号



大田市
山村留学センター
Sanbe Kodama Academy

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL:0854-86-0700 FAX:0854-86-0701 Email:o-sanryu@city.oda.lg.jp



大田市山村留学センター
公式ホームページ



くにびき通信
カラー版